

佐渡市立両津小学校 アスベスト健康対策等 専門会議ニュース

令和4年9月22日発行 **第13号**

- Index
1. 第19回、20回専門会議の内容について
 2. 健康リスク・心理相談の日程について
 3. アスベスト健康対策Q&A

発行：佐渡市立両津小学校アスベスト健康対策等専門会議

事務局：佐渡市教育委員会教育総務課 学事係 〒952-8501 佐渡市両津湊 198 番地

Tel. 0259-58-7353 Fax. 0259-58-7352 E-mail u-gakuji@city.sado.niigata.jp

ご不明な点や、ご意見・ご要望等がございましたら、お気軽に事務局までお問い合わせ下さい。

1. 専門会議の内容について

令和3年8月に第19回、令和4年8月27日（土）に第20回標記会議が開催されました。感染症拡大防止のためインターネットを利用した会議となりました。

会議に先立って健康リスク・心理相談についてご案内しましたが、2回とも申し込みはありませんでした。

2. 健康リスク・心理相談の日程について

来年度の相談予定日をお知らせします。（通知を希望された方には改めて通知します。）

開催日	開催時間	相談場所	健康リスク 相談担当	心理相談 担当	申し込み期限
令和5年 8月26日（土）	午後1時 ～3時	教育委員会 応接室、第3会 議室（予定）	名取委員	仲田委員	令和5年 8月2日（水）

3. アスベスト健康対策Q&A

過去に発行したアスベスト健康対策等専門会議ニュースに掲載したQ&Aについて、抜粋し掲載します。

Q 両津小アスベスト事故の健康リスク（発がんリスク）は、どの程度のものだったのでしょうか？

A 全校清掃中という飛散しやすい環境で、アスベストは薄く広く校舎内に飛散し、飛散箇所近くで掃除をした一部の児童だけでなく、全校生徒や教員等、校舎内に滞在した方全てが薄く広く吸引したと推定されます。

アスベスト濃度の推定値は4.8～2,210 繊維/Lと上昇しましたが、アスベストが高濃度に衣服について自宅でも吸引したという最悪の仮定でも、吸入した時間は8時間30分と短いため、アスベスト関連疾患が生じる健康リスク（発がんリスク）推定値は最大で100万

人に4.4人でした。

健康リスク推定値は「限りなく透明に近い灰色」とも言え、今回の事故でアスベスト関連疾患が今後生ずる事は極めてまれと推定されましたが、ゼロではない状況であるため、今後の健康対策が必要なレベルと考えられました。(ニュース第1号より)

Q 事故でアスベストを吸った場合、いつまでも体内に残っているのでしょうか？

A 肺の中に吸い込まれたアスベスト繊維を動物で調べると、約99%のアスベスト繊維が3ヶ月以内に体外に排出されます。気管支の壁にある繊毛(せんもう)や肺内のリンパ系の細胞が異物から体を守るためです。

しかし、肺内に一度沈着した残り1%のアスベスト繊維は、酸やアルカリ、熱に強い性質が災いし、多くは肺にとどまり、一部は肺からリンパの流れに乗り血液を介して全身に回ります。

現在の日本の大気には、少ない地域で大気1リットル当たり約0.2本のアスベスト繊維があるので、成人の肺には誰でもかなりのアスベスト繊維が沈着しています。肺のアスベスト繊維の一部は全身に回るため、肝臓や腎臓、筋肉等の全臓器から少量のアスベスト繊維が誰でも検出されるのが現状です。

今回は事故によるアスベストの吸入で量が少し増えたと思いますが、今までも肺やその他の体の臓器に一定量のアスベスト繊維を持ちつつも、みなさんは普通に暮らしてきたといえるのです。(ニュース第2号より)

Q 将来、もし健康被害が出た場合の補償と連絡先はどのようなのですか？

A 当委員会(現・健康対策等専門会議)で因果関係等を判定し、今回の事故に起因するものについては、佐渡市等が関連費用の補償をするなど、被害にあわれた方の負担軽減に努めます。

具体的には、今後、委員会で検討を重ねてまいります。

気がかりなことがありましたら、このニュースの表の面の事務局あてに電話またはメール等でまずはお相談ください。(ニュース第1号に加筆)

社会情勢や医療の発展に応じた対策を講じる必要から、将来に渡り、専門会議ニュース発行時などに合わせて現住所(あて先)の確認を行ってまいります。

引越し等であて先が変更になったときには、事務局までお知らせくださいますようお願いいたします。(特に島外へ転出した方々については、よろしく願いいたします)